

環境デザイン科 学科集会

環デTopics Vol.3

R5年度もスタートして間もなく1ヶ月。晴天に恵まれた本日は「学科集会」でした。



3年生司会で、まずは生徒を代表し、生徒会長でもある宮下君が挨拶をしてくれました。



学科長の挨拶のあとは恒例の写真撮影!



環境デザイン科らしく元気に活動的に!  
まとまりを持って様々な場面で自信をもって行動できる人になってほしいです。

1年 農業と環境 「もみまき」

環デTopics Vol.5

1年生の「農業と環境」でのイネの栽培がスタートしました。事前の学習で**発芽の条件**や、実際のもみまきの方法を学習して実線です。



まずは、育苗箱に「**粒状培土**」を敷き詰めます。ポイントは培土の厚みを一定にすること! ならし板を使い綺麗にならします。ちなみに、タネをまく土を「**床土**」と言います。

床土にかん水をしたのちに、実際にもみまきです。今は機械での播種が一般的ですが、実際に自分たちでやってみます。ムラのないように丁寧に種を播きます。



綺麗に播けてます! その後種が隠れるように上から土を被せます。これを「**覆土**」と言います。育苗器に入れ適温を管理しながら5日後には緑化に入ります。ちゃんと発芽してくれるかな?



イネは苗作りが大切!

今日からの実習を通し美味しいお米を育てましょう!

2年 清流里山公園での研修会

環デTopics Vol.7

岐阜県造園緑化協会主催の研修に2年生環境デザイン科が参加してきました。今回の研修内容は、造園緑化協会の青年部の方々と清流里山公園にある茶庭周辺に竹垣を作成します。

全体での開会式のあと、グループに分かれてプロの方から説明を受け、作成にとりかかります。



よくよく見渡すと、プロの中に本校造園科時代の卒業生が数名いました。後輩たちに優しくもこだわりを持って教えてくれました。



技術を学ぶだけでなく、この仕事の楽しさ厳しさなど色々な話が聞けた人もいたと思います。プロとしてたくましい姿の卒業生にも力をもらい、**さあ、夏の3級技能士に向けてこの経験を活かして、頑張りましょう!!**



3年 「坪庭日記④」 竹垣作成

環デTopics Vol.10

竹垣の作成は、2年生の技能士検定の際に沢山練習しましたね! まずは、竹を切ります。こんなに沢山の立子を切り出すのは初めてです! 次に胴線の取り付けをします。すでに立っている柱に対して、竹の切り口がぴったり合わさるように切って釘を打ち、固定します。ここが難しい!



そして、最後に立子を結びます。緩まないようにと固く結びます。ゆるんできたら一からやり直し…。結びが苦手な人も、感覚を思い出し最後にはときと結べましたね!



次回からはよいよ、各班の坪庭の施工に入ります。現在作庭している坪庭は、学校の敷地の北側道路からも見ることが出来ます。通った際には是非立ち止まってください!

3年「若年者ものづくり競技会 敢闘賞受賞!!」 環デTopics Vol.17

前回のHP (Vol.16) にて紹介しましたが、8月1日(火)～2日(水)にツインメッセ静岡にて開催された若年者ものづくり競技会に岐阜県の代表として本学科3年生の代表生徒が参加しました。

全国から15名の参加者が集まり、技術力の高さを競いました!!



オレンジ色の作業服が輝いていますね(\*´▽`\*)



環境デザイン科 学科集会-学科レク-

環デTopics Vol.21

朝晩と肌寒い季節になりました ☺  
4月に行った学科集会から半年が経過しました。

今回の学科集会では学科の親睦やクラスの団結力を高めるため**学科レク**を行いました(#^へ^#)

「学科でレクをしたい!!」3年生の熱き思いからこの企画は動き出しました!!

レクの内容や準備、当日の運営はすべて3年生で行い、生徒の力で会を成功させることができました(\*´艸`)



1年 農業と環境「収穫の秋 第3弾」

環デTopics Vol.24

いよいよ最後の収穫の秋「ダイコン」です。緑園祭の一般販売に向けて集荷しました。

環境デザイン科で栽培している品種は「秋祭り」。毎年大きなダイコンで販売所でも好評をいただいています。緑園祭でも多くのお客様に買ってもらえました。天候が悪く大変でしたが、100本以上のダイコンを収穫しました。



POPも作成し、販売への準備も万端です!!

当日は雨も時折降る中ですが、30分で完売できました。「すごい大きい」と評判でした。



収穫の秋も終わり、2学期も残りわずか!  
1年の終わりには何か実になるものがあるといいですね。

「緑園祭環境デザイン科学科展」

環デTopics Vol.25

4年ぶりの「緑園祭」一般公開が開かれました。環境デザイン科の学科展も4年ぶり。過去を思い出しながら生徒と準備を行いました。

当日は肌寒い天候でしたが、多くの方がダイコンの販売、学科展、体験コーナーに足を運んでくれました。



多くのお客様に喜んでいただけたと思います。  
3年生が中心となって学科展を盛り上げてくれました。来年度もお楽しみに!

2年「京都庭園見学」

環デTopics Vol.27

2年生による京都庭園見学が行われました。朝早くから出発し、銀閣寺、梅小路公園、朱雀の庭、龍安寺、天龍寺の4つの庭園を見学するコースです。

銀閣寺は室町時代に善阿弥・相阿弥による作庭です。その後1度は荒廃しますが、江戸時代に改修され現在の姿になったと言われています。石積み銀閣寺垣、生垣による入口を抜けると、目の前には特徴的な向月台と銀沙灘が広がる美しい景色。



2つ目は梅小路公園の「朱雀の庭」です。平成2年に平安遷都1200年を記念し、植芳造園の井上剛宏氏による作庭です。水面に映る景色が特徴的ですが、日本庭園には珍しくヒオラ等の草花が植栽されています。



1年 総合実習「北山杉の剪定」

環デTopics Vol.35

一年生での実習も残すところ後わずかになりました。本日も行ったのは剪定技術が問われる北山杉の剪定!! 木に過度なストレスをかけないように剪定できるかな。



切り方の説明を聞いて  
!!!いざ実践!!!

学校にある北山杉は台杉仕立て、立ち木が何本も伸びている。今回は立ち木の横から伸びた枝を剪定する。

「む!これはなかなか難しい。」

切り口は、枝が残らないように、切り口を少しえぐるように切る!!

「やってるつもりなのに枝が少し残っちゃう。」

枝が残ってしまうと木が枯れる原因に!?

木の負担が少ないように管理するのが一番大切。

生徒の顔も剪定を始めたころに比べ顔つきが変わってきました。

切った枝は粉碎して剪定終了。授業前と後では北山杉もさっぱりしました。

冬の風が吹く中、生徒たちもよく頑張ってくれました。

1年 総合実習「門松づくり」

環デTopics Vol.31

今年も残りわずかとなりました。この時期、環境デザイン科では1年生が門松を作るのが定番行事!!今年も竹を磨くところからスタートです。磨いた後は、寸法を測り切っています。この角度が難しい。



門松に使用する竹は3本で1セット。3本のバランスが良く見えるように組んで、シュロ縄で縛り固定します。

そしていよいよ、菊鉢の中に竹をセット!竹が移動しないように砂をいれて、つき固めていきます。竹が斜めになっていないか確認しながら丁寧に...



門松に使用する植物は縁起が良いとされるウメやマツの他に紅白の葉ポタンやナンテン(難を転ずる)をバランスよく配置します。生徒の個性が出る仕上がりとなりました。1年生の皆さんはお正月に向けて、玄関に飾ってくださいね!

「岐阜県域農林業教育システム研究発表会」

環デTopics Vol.37

1月21日(土)岐阜大学にて、岐阜県内の農業を学ぶ学生が集まり、分野に分かれ、現在行っている研究について交流する会に3年生から2つのグループが参加をしました。



校外に出て発表する機会は初めて。どんな質問が来るんだろう、と不安もありましたが、堂々と発表することが出来ましたね!大学の先生に声をかけて、自分たちの研究についてのアドバイスを求める場面もありました。学びがぐっと深まった瞬間でした。



「林学・環境・生体」の分野にて最優秀賞を頂きました!

2年「京都庭園見学」

環デTopics Vol.27

2年生による京都庭園見学が行われました。朝早くから出発し、銀閣寺、梅小路公園朱雀の庭、龍安寺、天龍寺の4つの庭園を見学するコースです。

銀閣寺は室町時代に善阿弥・相阿弥による作庭です。その後1度は荒廃しますが、江戸時代に改修され現在の姿になったと言われています。石積み銀閣寺垣、生垣による入口を抜けると、目の前には特徴的な向月台と銀沙灘が広がる美しい景色。



2つ目は梅小路公園の「朱雀の庭」です。平成2年に平安遷都1200年を記念し、植芳造園の井上剛宏氏による作庭です。水面に映る景色が特徴的ですが、日本庭園には珍しくピオラ等の草花が植栽されています。



1年 総合実習「北山杉の剪定」

環デTopics Vol.35

一年生での実習も残すところ後わずかになりました。本日行ったのは剪定技術が問われる北山杉の剪定!! 木に過度なストレスをかけないように剪定できるかな。



学校にある北山杉は台杉仕立て、立ち木が何本も伸びている。今回は立ち木の横から伸びた枝を剪定する。



切り方の説明を聞いて  
!!!いざ実践!!!



「わ!これはなかなか難しい。」

切り口は、枝が残らないように、切り口を少しえぐるように切る!!

「やってるつもりなのに枝が少し残っちゃう。」

枝が残ってしまうと木が枯れる原因に!?

木の負担が少ないように管理するのが一番大切。

生徒の顔も剪定を始めたころに比べ顔つきが変わってきました。



切った枝は粉碎して剪定終了。授業前と後では北山杉もさっぱりしました。

冬の風が吹く中、生徒たちもよく頑張ってくれました。

1年 総合実習「門松づくり」

環デTopics Vol.31

今年も残りわずかとなりました。この時期、環境デザイン科では1年生が門松を作るのが定番行事!!今年も竹を磨くところからスタートです。磨いた後は、寸法を測り切っています。この角度が難しい。



門松で使用する竹は3本で1セット。3本のバランスが良く見えるように組んで、シュロ縄で縛り固定します。

そしていよいよ、菊鉢の中に竹をセット!竹が移動しないように砂をいれて、つき固めていきます。竹が斜めになっていないか確認しながら丁寧に...



門松に使用する植物は縁起が良いとされるウメやマツの他に紅白の葉ポタンやナンテン(難を転ずる)をバランスよく配置します。生徒の個性が出る仕上がりとなりました。1年生の皆さんはお正月に向けて、玄関に飾ってくださいね!

3年生「課題研究発表会」

環デTopics Vol.36

環境デザイン科では、3年生の1学期には坪庭作庭があるため、2学期から専攻に分かれて、各テーマに取り組みました。短い期間の中で、3年間学習してきたことを活かして新たな挑戦をした班、課題を解決するために取り組んだ班、校内の景観維持に取り組んだ班...頑張ってきたことを後輩に引き継ぐために発表に臨みました!



また会の終わりに今年の坪庭コンクールの結果発表も行いました。最優秀賞は設計者 蔵本結菜さんの作品「織姫と彦星」でした。賞状と学科長手作りの副賞をもらい、嬉しそうですね! 1,2年生も先輩の頑張りに応えるように一生懸命聞き、質問が出来ましたね! 3年生のみなさん、発表お疲れさまでした!!

「岐阜県域農林業教育システム研究発表会」

環デTopics Vol.37

1月21日(土)岐阜大学にて、岐阜県内の農業を学ぶ学生が集まり、分野に分かれ、現在行っている研究について交流する会に3年生から2つのグループが参加しました。



校外に出て発表する機会は初めて。どんな質問が来るんだろう、と不安もありましたが、堂々と発表することが出来ましたね!大学の先生に声をかけて、自分たちの研究についてのアドバイスを求める場面もありました。学びがぐっと深まった瞬間でした。



「林学・環境・生態」の分野にて最優秀賞を頂きました!



建仁寺垣の製作(造園施工管理 2年生)

環デTopics Vol.43

2年生の専門科目 造園施工管理の授業で建仁寺垣の製作体験を行いました。

そもそも建仁寺垣とは、四つ目垣(右図)とは異なって後ろの背景をまったく見せない構造が特徴で、仕切り垣の基本となっています。



建仁寺垣を製作するにあたり、普段結びの練習で使っている模型を解体!



新たに胴縁を3本親柱に切付留(左図)で取り付けます。胴縁固定後は、立て子(割竹)を2段目から上げていきます。練習した「うの首結び」で立て子を固定したあとは押し縁・玉縁の固定です。押し縁や玉縁を固定する際は「ねじりいぼ結び」や「飾り結び(玉飾り)」で結束しました。



結束の際に、使用したのがこの「くり針(左図)」。この道具があることで、垣根の裏側に回らずシュロ縄で結ぶことができます。農業鑑定の学習にも頻繁に登場するくり針にどんな用途があるのか文字だけでなく体験的に理解が深められたと思います。

体験レベルなので大きな建仁寺垣は製作できていませんが無事完成(\*・\* 艸)

夏休み中に実施した造園技能検定3級で習得した技術がある2年生の皆さんだからこそ理解が深められる演習だったのではないのでしょうか?次年度は坪庭の制作です。この技術が生かせるのと良いですね('ω')ノ



1年 農業と環境 「試食会」

環デTopics Vol.47

科目「農業と環境」で育てたお米の試食会を行いました!各自、家からおかずを持ち寄り、お昼の試食会を待ちます!



つやつやのご飯にみんな笑顔がこぼれます「めっちゃ美味し〜!」の声が沢山聞こえてきました!5升のお米があっという間になくなりました。もっと食べたかったね〜



生徒A:「お前もおかわり?」生徒B:「俺4杯目〜」レスリング部の2人、沢山ご飯を食べてくれました!



1年 造園建設業協会の出前講座

環デTopics Vol.49

(一社)日本造園建設業協会女性活躍推進部会による出前講座に参加しました。造園の仕事は20面相と言われるほど、様々な知識・技術が必要な仕事であること、また、造園は作って終わりでなく、作ったあとの手入れまでが造園業であることを知ることができました。



造園業を営んでいる小立造園の小立さんからは、自身も岐阜県の農業高校出身であり、土木を学んできたことや、10年前までは別の仕事に就いていたが、その時の仕事の知識が今の仕事に活かしていることをお話いただきました。今、進路に悩んでいる高校1年生にとって、とても参考になったのではないのでしょうか。

生徒の感想

「初めてこのような話を聞き、造園業にすごく興味をもった」  
「造園には様々な仕事があり、色々な所に携われるやりがいのある仕事だと感じた」  
「今学習していることをもっと勉強したくなった」  
少しでも造園の魅力に気づき、これからの学習に活かしてくれることを期待します。